

高等学校（地理歴史 日本史 A）学習指導案

1 単元名

「第 1 編 近代の日本と世界 第 2 章 明治維新と近代国家の形成」（日本史 A 清水書院）

2 単元について

(1) 単元観

本教材は、学習指導要領の内容「日本史 A（2）近代の日本と世界 ア近代国家の形成と国際関係の推移」に基づくものである。

明治政府は、廃藩置県、封建的身分制度の廃止、学制や徴兵令、地租改正など一連の制度改革を推進して富国強兵・殖産興業政策を進め、西洋の近代思想や生活様式などを取り入れた。これらの政府主導による改革は、我が国を欧米社会と対等の地位に引き上げようとするものであるとともに、国民に世界への窓を開き近代への覚醒を促すものであった。

本単元では、明治政府が実施した諸改革に伴う社会や文化の変容について調べ、その過程や結果について考察させることで、諸政策の目的や意味を明らかにし、明治維新に対する理解を深めることをねらいとしている。

(2) 生徒観

事前に実施したアンケートでは、日本史に興味がある生徒は約 80%（24 人中 19 人）である。また、日本史を学ぶことで自分が成長できていると思っている生徒は約 60%である。さらに、日本史の学習で習得した知識を、学校や家庭生活で生かすことができると考えている生徒は約 48%と半数を下回り、学んだことを生かしていない傾向にある。また、これまで、習得した知識を基に対話的活動を通して考えを形成する経験はあまりない。生徒の多様な考えを引き出せるよう、複数の答えがある学習課題（問い）を提示したり、対話的活動の手順やルールを分かりやすく説明したりすることが必要である。

(3) 指導観

導入では、明治維新について身近な社会との関わりに気付かせることで、本単元の学習に対する関心を高めたい。展開では、明治政府の様々な政策や人々の生活の変化に関する理解を深めたい。その際、富国強兵や殖産興業、文明開化などについての資料を提示し、比較させることで、考えをまとめることができるようにする。終末では、対話的活動を通して、明治政府が実施した財政制度・徴兵制度・教育制度という 3つの政策の効果の順位付けとその理由について考える学習活動を設定する。その際、対話的活動によって考えを整理したり、新たな根拠に気付いたりすることができるようにしたい。

3 単元の目標

明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容への関心を高め、資料を活用して調べながらその過程や結果について考察することにより、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について理解することができるようにする。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
・明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に対して関心を高め、意欲的に追求している。	・明治政府の諸改革の特色を、多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。	・富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、人々の生活が大きく変化したことを読み取ってまとめている。	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身に付けている。

5 指導と評価の計画（全 9 時間 本時 8・9 / 9）

時	学習内容	学習活動	対話的活動	ねらい	評価の観点				評価規準	評価方法
					関	思	技	知		
1	近代国家の成立と国民の誕生	明治政府の初期の政策について学ぶ。		明治政府の初期の改革について関心をもつ。	●				明治政府の初期の政策について関心をもっている。	発言内容ノート・ワークシートの分析
2	地租改正と殖産興業	政府の税制や産業育成について学ぶ。		明治政府の財政面の構造を理解する。				●	政府の経済政策について理解している。	同上
3	文明開化	西洋文化の導入の様子を学ぶ。		西洋文化の国民生活へ影響を読み取り、まとめる。			●		文明開化について読み取ったことをまとめている。	同上
4	明治初期の国際関係	明治初期の外交を学ぶ。		明治政府の初期外交の流れを理解する。				●	初期の政府の外交の流れを理解している。	同上
5	国境の画定と北海道の開拓	日本の領域の確定過程を学ぶ。		日本の領域確定の背景について理解する。				●	領域確定を示す歴史事項を理解している。	同上
6	不平士族の反乱と日朝修好条規	朝鮮の開国と士族の反乱のようすを学ぶ。		士族反乱の要因と朝鮮の開国について理解する。				●	士族の反乱と朝鮮の開国との関連を理解している。	同上
7	明治政府の政策の目的と影響	明治政府の実施他した制度を学び直す。		明治政府の政策を調べ、補足説明から各制度をまとめる。			●		これまで学んだことをまとめている。	活動観察 ワークシートの分析
8 本時	明治政府が実施した制度への考えを深める。	明治政府が実施した制度が 30 年後の国力との関連を考える。	班活動を通して、意見交換や質問や補足説明を行い、明治政府が構築した制度に対する理解を深める。	明治政府の政策を比較させることで、自分の考えを明確に表現する。		●			明治政府が実施した各制度について、これまでに獲得した歴史の知識を活用して、自分の考えを表現している。	ワークシートの分析
9 本時	明治維新を俯瞰する。					●				ワークシートの分析

6 本時



(1) 目標

明治政府が実施した各制度について、これまでに獲得した歴史の知識を活用して、自分の考えを表現することができるようにする。【思考・判断・表現】（8・9 / 9 時間）

(2) 展開

8 / 9 時間


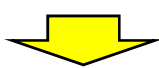
対話的活動 評価 (A・・・十分満足 B・・・おおむね満足 ★・・・努力を要する生徒への支援)

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (◆) (評価方法等)
導入	1 本時の流れと学習課題(問い)を確認する。	・話合いのルールや心得について電子黒板に投影して確認させる。	
	問い:明治政府が実施した次の制度で,30年後の国力向上に一番効果のあったのはどれだろうか? I 財政制度 II 徴兵制度 III 教育制度		
展開	2 ワークシートに国力向上に効果があった明治政府の制度の順位とその理由を書き込む。	・事前に正答はないことを伝えることで生徒の多様な考えを引き出す。	
	3 司会者を中心に,制度の順位を決める話合いをする。 【班学習 5 人 1 組】 班での話合いを通してお互いの考えを伝え合う。	・話合いが円滑に進むよう,事前に班の司会者や記録者や発表者等を決めさせておき,ルールや心得を電子黒板に投影して確認する。	
	① 班内での意見交換 	・各班で話し合う際,根拠を基に説明させ,生徒同士の考えを比較できるようにする。 ・ほかの生徒の意見を参考に,順位の理由を記述するように促す。	
	② 自分の考えの再考・再構築 	・司会者を中心に作業シートに付箋を貼るなど,協同作業を通して合意形成を行い,順位を決定させるようにする。 ※ほかの生徒の意見を参考に順位を修正する場合は,考えの変容が分かるように,青ペンで記入させる。	◆明治政府が実施した各制度について,これまでに獲得した歴史の知識を活用して,自分の考えを表現している。 【思考・判断・表現】 (ワークシートの分析) A:資料から考えの根拠となる事実を読み取って,読み取った事実と知識を活用しながら,複数の視点で3つの政策を比較している。 B:資料から考えの根拠となる事実を読み取って,読み取った事実と知識を活用しながら,1つの視点で3つの政策を比較している。
	③ 班の統一した考えを形成	・班で決定した順位付けとその理由をワークシートに記入させる。	★:ほかの生徒の意見を参考に記述するよう促す。

ま と め	4 次回への見通しをもつ。 ・班の発表者の確認 ・統一意見の確認	・班の発表者によるプレゼンテーションの準備について、班全員で協力するように伝える。
-------------	--	---

9 / 9 時間

対話的活動 評価 (A・・・十分満足 B・・・おおむね満足 ★・・・努力を要する生徒への支援)

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (◆) (評価方法等)
導入	1 本時の学習の流れを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板に学習活動や班活動の手順とルールを投影する。 事前に各班の発表者を決めさせておく。 	
展開	2 班の考えを伝え合い、自分の考えを再構築する。 【班学習 5 人 1 組】 ①班の考えとその理由を説明  ②他班の考えへの質問 (応答)  ③自分の考えの最終的な決定	<ul style="list-style-type: none"> 現時点での班全員の合意であることを確認させる。 最終的な意見が考え抜いた末の自己判断であるよう伝える。また、考えが変わるのは、決して悪いことではないことを共通認識としてもたせる。 他班の考えを聞く際は、自分の考えとの共通点や相違点を見付けながら聞くように伝えておくことで、目的意識をもって聞くことができるようにする。 他班の考えに質問をする際は、誹謗中傷にならないよう、表現に気を付けることを確認する。 最終的な自分の考えをワークシートに記入させる。 最終的な見解を変える場合は、その理由をワークシートに記述させる。 ※他班の生徒の意見を参考に順位を修正する場合は赤ペンで記入させる。	◆明治政府が実施した各制度について、これまでに獲得した歴史の知識を活用して、自分の考えを表現している。 【思考・判断・表現】 (ワークシートの分析) A：資料から考えの根拠となる事実を読み取って、読み取った事実と知識を活用しながら、複数の視点で3つの政策を比較している。 B：資料から考えの根拠となる事実を読み取って、読み取った事実と知識を活用しながら、1つの視点で3つの政策を比較している。 ★：ほかの生徒の意見を参考に記述するよう促す。

ま と め	<p>3 明治維新で学んだことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに明治維新の全体像を記述する。 <p>4 これまでの学習について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに対話的活動についての感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板に明治維新を俯瞰したプレゼン資料を投影することで、生徒が全体像をイメージできるようにする。 学んだことを自分の言葉で記述させることであるよう伝える。 これまでの学習でどのような効果があったのかの視点で書くように伝え、ワークシートを回収する。 	
-------------	---	--	--